

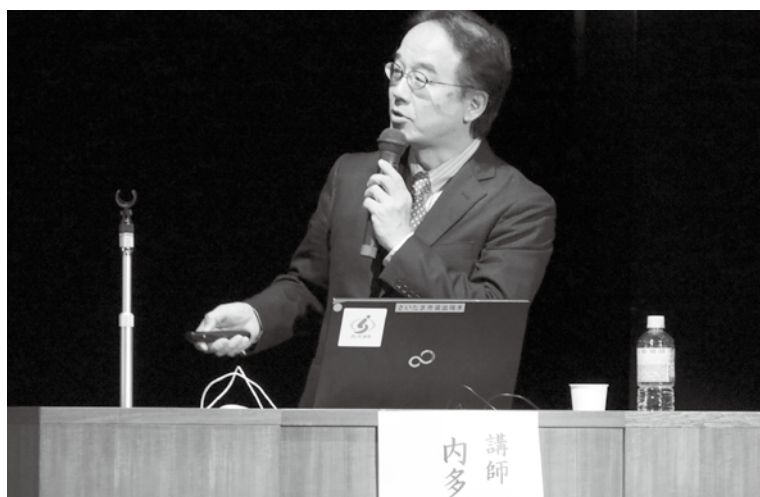
さいたま市障害者社会参加推進センターだより



ぱらネット

第36号

令和元年度 「障害者週間」市民のつどい



内多勝康さん

令和元年
12月7日(土)

会場

浦和コミュニティセンター
浦和駅東口
市民ひろば



松本ハウス



ヌウ

基調講演

「医療的ケアがあっても安心して暮らし、学びたい」

内多 勝康氏

「もみじの家」ハウスマネージャー内多勝康さんの講演は、痰吸引、経管栄養、人工呼吸器使用など医療的ケアの説明から始まりました。そして、医療の進歩で多くの子どもの命を救うことができるようになった一方で、医療的ケア児は増え、患者はもちろんその家族を支える体制（保育所、学校など）がまだ整っていない現状を伺いました。

重い病気を持つ子どもと家族のひとり一人がその人らしく生きることができる社会を創るといふ理念、新しい支援の仕組みを研究開発し全国に広めるといふミッションの下、在宅で医療

的ケアを受けている子どもと家族を支援するため作られた短期入所施設「もみじの家」の話を聞き、スライドで施設や活動の様子を見て素晴らしい環境、スタッフをうらやましく思いました。開設時ニュースで当時の皇后美智子さまが訪問され、利用者、家族と歓談されるお姿も記憶に残っています。

開所から3年半、利用希望者が多くコンスタントに利用することは難しく、また新規登録面談は3年待ちとのこと。このような施設はごくわずかで、経営も厳しいとのことですが、負担の多い家族のためだけではなく、利用者の「自立」を考える

機会にもなっている「もみじの家」のような施設が増えることを切に願っています。

娘は今年三十歳になる難病の重度障害者です。病気の進行とともに、誤嚥性肺炎を防ぐため痰の吸引が必要になり、胃瘻造設（栄養剤を直接胃から注入）、気管切開（唾液が肺に入らないよう口頭分離を含む）の手術を受けました。夜間の人工呼吸器使用など常時医療的ケアを必要としています。我が家では当たり前前の日常ですが、まだまだ医療的ケアの実態と、その家族の生活を知らない方が多いでしょう。かつて報道に携わっていた内多さんがこのような機会を得て、伝えて下さったことをありがたいと思えました。

また今回の講演では質疑応答の時間がなく、十九歳を超え

「もみじの家」を利用できなくなった障害者への対応を伺えなかったことが残念です。医療的ケアを必要とする障害児が大人になっても安心して利用できる施設の必要性も、内多さんに発信していただけたらと思っています。

さいたま市肢体不自由児・者
野口八重子
父母の会





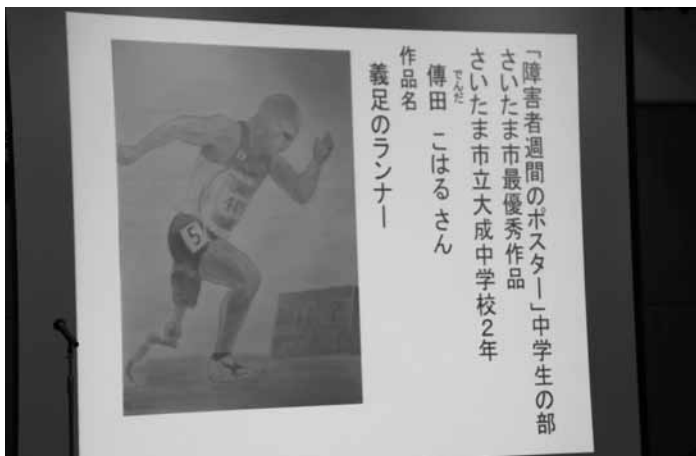
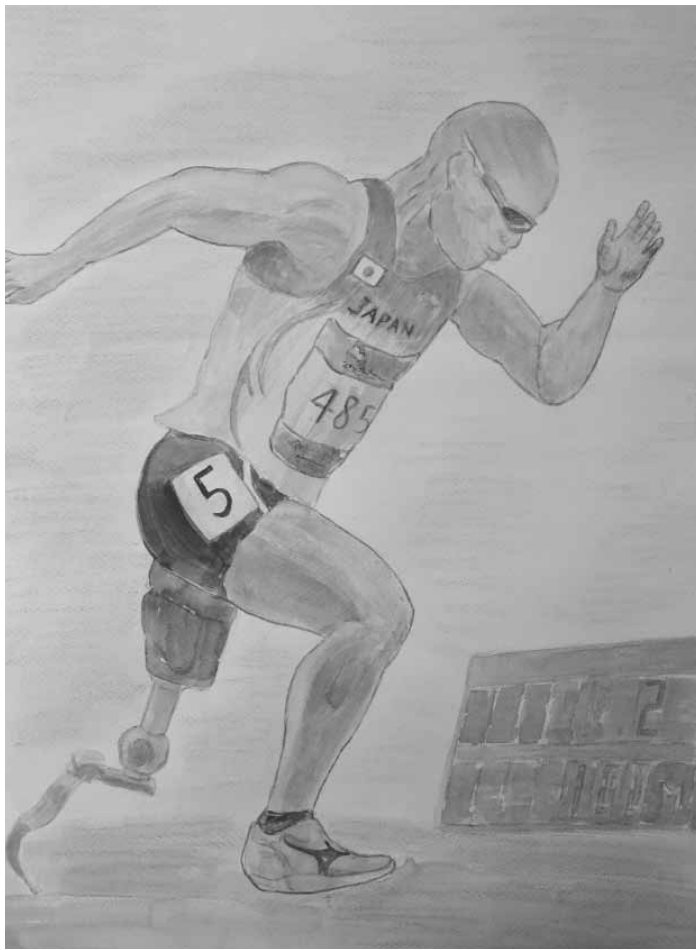
体験作文・障害者週間のポスター表彰

今年度も内閣府並びに都道府県・指定都市の共催で「心の輪を広げる障害者理解促進事業」

が実施され、心の輪を広げる体験作文三作品と障害者週間のポスター一作品がさいたま市最優秀賞を受賞しました。「障害者週間」市民のつどいにおいて表

彰式を執り行い、受賞した三名（一名欠席）には、市長から直接、賞状が授与されました。

また、表彰式では、作文の朗読とポスターの映写を行い、来場者に作品が紹介されました。受賞者は、体験作文では、「ひいおばあちゃん」を書いた



上落合小学校三年の大内田昌奏さん、「本当の『バリアフリー』」を書いた浦和中学校一年の三代和香さん、「違和感から共感へ」を書いた浦和実業学園高等学校二年の小松和可さん、障害者週間のポスターでは、「義足のランナー」を描いた大成中学校二年の傳田こはるさんです。

受賞した皆さんは、家族や日常での身近な体験をきっかけに、自身の障害者への理解や関わり方が変化していった様子を語ってくれました。

市民の間にも、身近な気遣いから、障害福祉に関する理解が一層広がってほしいと感じました。さいたま市障害政策課



松本ハウスを 迎えて

竹内 政治

松本ハウスは統合失調症のハウス加賀谷とその理解者松本キツクの二人で漫才をやる芸人です。市民の集いにも心良く出演を承諾していただきました。当日、私は彼らの案内役みたいなことをしましたが、エレベーターで待っていると中々現れません。更に待っているとハウス加賀谷さんはすぐに確認できました。しかし、松本キツクさんとその子供とマネージャーにはまるで気付かずスルーしてしまいました。それくらい気取りのない人たちでした。迎えた本番、コメントとトークショウを披露してくれました。主に統合失調症をモチーフにした、笑えるけれど、どこか神妙な心持ちにさせる内容でした。ハウス加賀谷さんはステージに立つと派手な感じがしました。控室ではどこかおどおどしていた雰囲気でしたが、やはり統合失調症を抱えて



いても、さすがプロだなと感動しました。トークショウではハウス加賀谷さんの病気の発症から辛い体験を乗り越えて芸人としてデビューするまでと売れっ子になり無理をして再発し長い期間、治療に専念して再び芸能界に返り咲いたことを語ってくれました。印象に残っているのは松本キツクさんの統合失調症に対する接し方です。最初は分からないながらも適度な距離を保ち、ずっとハウス加賀谷さんを待っていたそうです。松本ハウスの二人には本当の意味での絆があると思えました。今ではハウス加賀谷さんはいい薬と巡り合い、これからも活動を続けていくそうです。

「心を一つに」を 目標に

宮原中学校合唱部

気温が上がらず、すっかり冷え込んで、本格的な冬を思わせる寒さとなった12月7日、さいたま市立宮原中学校合唱部員による合唱は、会場を温かい雰囲気包み込みました。

オープニング曲は、ドラえもんへの挿入歌「少年期」(武田鉄矢作詞)。メロディーは切ない曲ですが、歌詞の内容に深みがあり、希望の光みたくいながらも感じられ、最後の「ああ僕はいつごろ大人になるんだろう」というフレーズに感動しました。大人に媚びない若々しい歌声に豊かな心の広がりを感じ、温かい気持ちになりました。

アフリカの広大なサバンナに広がるような気分になさせてくれる、「ディズニー映画「ライオン・キング」」。曲の途中から高音域に入り、終盤の笛の音が効果的でした。

「ほらね、」(伊東恵司作

詞)を披露。

多くの人々の心を温かく包んで優しい気持ちにしてくれる曲です。

「ほらね 僕らは一人じゃない」「きつとね 誰も一人じゃない」の歌詞が印象に残りました。最後にメンバーが、「歌は私たちの大切な友達です。またお会いできる日を楽しみにしています」と述べました。

宮原中学校合唱部は1年生19人・2年生34人で活動しており、部訓「心を一つに」をモットーに、部活・勉強・コンクールや地域のコンサートなど、幅広い活動に取り組んでいます。先日、全国大会で初出場ながら、金賞(無伴奏女声合唱)を受賞しました。

精神障害者家族会連絡会

鈴木 義男



当日の様子



精神家族会の相談会



スタンプラリー



ロビーの様子



ひと休み



物品販売



視覚障害の展示コーナー

ふれあいステージ

屋外ふれあいステージの企画は今年で三年目となりましたが、あいにくお天気恵まれず、ヨンレノの皆さまによるバンド演奏以外は、場所をレクリエーションルームに変更して開催されました。

駅前市民広場のように多くの方に見ていただくことは叶いませんでしたが、躍動感たっぷりのダンスや車いすのボーカルによる力のこもった歌声、優しいハンドベルの音色、迫力のよさこい、手話付きのゴスペルなど、素晴らしいパフォーマンスを披露してくださいました。

健常者とか障害者とかいう言葉ではなく、どんな人も等しく同じ場所に集い、一緒に作り上

げていくふれあいステージは、最も市民のつどいの目的を表現できると感じています。

市民のつどいが、さらにノーマライゼーションのつどいとしての役割を果たせるように、実行委員の方々と考えていきたいと思っています。

(泉)



いわつき舞雛



織の音工房



いーはとーぶ



TEAM絆



Yohn Lenno



めぐみ園

令和元年 さいたま市障害者週間 「市民のつどい」

実行委員長 中野 勇

当日は天候が良くなり東口駅前広場でのイベントは10Fへ移して行われました。当日は9時に集合し私のあいさつ、障害政策課課長永島潤さまのあいさつで実行委員の皆さまは持ち場に着き、10時から10Fのホールにて式典、さいたま市長清水勇人さまを迎え、ごあいさつを頂き私も一言あいさつし、開会となりました。心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター・障害の有無に関わらず誰もが地域や職場学校などで先に支えあつて暮らせる共に生きる社会の実現を目指して障害のある人に対する国民の理解を広げる為の障害者週間のポスターの募集を行い市で選考の結果、最優秀賞以下5名に決定しました。上落合小学校大内昌奏さん、浦和中学校三代和香さん、浦和実業学園高等学校小松和可さん、大成中学校傳田こはるさんの表彰

がありました。基調講演「医療的ケアがあつても安心して暮らし、学びたい」との題目で元NHKでアナウンサーとして30年間勤めあげた内多勝康さまに講演をいただきました。また、お笑いコンビ松本ハウスさんによる「統合失調症がやつてきた」との題目でお話をいただき、見て下さった方々も大変喜ばれたと思います。駅前広場のイベントも室内で行われ、育成会、聴覚、視覚、筋ジス、精神家族会、消費者センター（オレオレ詐欺ブース）共に盛況でした。

各団体皆さまのご協力により大盛況で開催できました事に感謝申し上げます。

午後4時、米山恵美子副実行委員長の言葉で閉会。その後、実行委員会の皆さままで後片付けをして解散となりました。

今回の反省会では参加者約1419名となったようです。本当にありがとうございました。



アンケート

・内多氏の講演は活舌が良く、大変興味を持って聞かせていただきました。…類似意見ほか2件
 ・分かりやすい丁寧な語り、医療的ケアの実際の映像を見せていただくことにより、医療的ケア児について知ることができました。社会で支えていくということ意識して、なにか自分でもできることはないか心に留めておきたいです。…類似意見ほか5件

・医療的ケアを必要とする30代の子を持つ親としては、これほど増えていることはショックです。これから先を考えたとき心配になります。小さな子たち、そして、親たちの心配のない社会になるよう活動していかなければと思います。

・主に松本ハウスを見たくて来ました。笑いも交え、大変楽しく拝見させていただいたと思います。一当事者の人生を深く知ることができたと思います。大変なこととおおありかと思いが、松本ハウスを応援しています。『統合失調症がやつてきた』も持っています。「あきらめない」、「焦らない」私はい

いメッセージをいただきました。基調講演、松本ハウスさんのトークショーぜひ動画でもっとたくさんの人に見てもらいたい。…類似意見ほか5件

・今後、精神障害にスポットを当てていただきたい。そのために松本ハウスのゲストは良かった。

・松本ハウスさんのトークショーがとてもよかった。よくカミングアウトできたなということ、キックさんが加賀谷さんの状況を漫才師のやすし、きよしのようによく受け入れてくれたと思いました。

・子どもも楽しめるスタンプリーや販売もあり、親子ともども楽しかったです。今後の開催を楽しみにしています。…類似意見ほか5件

・初めて市民のつどいに参加しました。多くの友人、知人に会え、よかった。いろいろなグループがあり、それぞれ頑張っていると感じた。

・ビーポップのムーブメントは息子がとても喜んでいました。ありがとうございます。毎年来ていますが、来るたびに障害者週間の意義が分かるようになりました。有意義な週間だと思います。

バス見学会に 参加して

稲葉 晃

去る2019年10月22日、さ

いたま市障害者協議会主催のバス見学会で、JAXA筑波宇宙センターへ行ってきました。その日は、早朝、さいたま新都心に集合し、バスで移動しました。行きも帰りも途中で守谷サービスエリアに寄りました。行きは、コロッセパンや焼き鳥を食べ、帰りには、焼きそばや、バウムクーヘンを食べました。

JAXAは、広い敷地で、バスで移動しながら施設を見学しました。機密があるのか、スマホなどの撮影機能のある機器を預けて見学するエリアもありました。私が印象に残ったのは、地球を周っている衛星からの映

像で、数十分で地球を一周するそうです。後は、月の映像で、丘やクレーターなどにそれぞれ名前が付いているのが印象に残りました。

私が生きている間に人類は宇宙旅行に行けるようになるのかな？と夢が膨らんだ1日でした。ありがとうございました。

.....

ふれあいスポーツ 2019

今年のふれあいスポーツ大会は、天気が心配で雨天対応を気に掛けながらの開催準備になりました。会場の岩槻文化公園は好天で開催できました。

初参加の事業所や団体名を見かけて、新しい仲間の参加は、うれしいことです。

芝生のグラウンドでパン食い

競争や昼のイベントを楽しみました。体育館では、参加者の多くが体験できる企画に笑い声が広がっている楽しい空間でした。

ボランティアの参加者が少なく残念でした。学校などの文化祭と重なる事が課題だと思えます。

閉会式では、参加者全員で歌い踊って、来年もここ岩槻文化公園で元気にお会いできることを確かめながら多くの方に感謝して帰路に着きました。

皆さんのお力添えで無事に開催できた事は感謝です。これからも楽しく運動できる機会を作れるように企画を研さんしたいと思えます。来年のご参加をお待ち申し上げます。

さいたま市手をつなぐ育成会

黒澤 篤子

編集後記

今年度の市民のつどいは生憎のお天気でしたが、どうか無事に終え事務局としても安堵いたしました。これまで、いろんな方を基調講演にお招きし、お会いすることができ立場にいることは事務局としてのささやかな特権で、楽しみでもありません。姜尚中さんは、とても紳士的な方、テレビで見た通り。東田直樹君は温かいお母さまの愛情でこんなにも素晴らしい文章が書けるのかと感心し、野田あすかちゃんはナイーブで繊細なかわいらしいお嬢さん。新井先生の寡黙で慎み深い態度に感銘を受け、そして、今年度は内多勝康さん、元NHKのアナウンサーとあって、さすがに滑舌よく自然とお話に引き込まれていきます。来年度は：楽しみにしております！

(事務局 松澤)

発行 さいたま市障害者

社会参加推進センター

〒333-0801

さいたま市大宮区土手町

一・二二二一

大宮ふれあい福祉センター4F

TEL 〇四八・六五三・七二七一

FAX 〇四八・六五三・七三三一

http://www.saitama-planet.com/

e-mail sctamacity-handynet@

bz03.plala.or.jp

発行・編集人 中野 勇